



学校防災だより

泡瀬特別支援学校
安全指導係
平成28年6月
(No. 1)

梅雨が明け、毎日暑い日が続いていますが、保護者のみなさんどうお過ごしでしょうか？学校ではプールも始まり、楽しそうな声が響いています。

さて、4月の家庭訪問時期に本校の安全に関するアンケートを実施しましたが、たくさんの回答をいただきありがとうございました。そして今回は、そのアンケートであった質問、疑問にお答えつつ、本校の安全体制について理解していただきたいと思います。

本校について

我が泡瀬特別支援学校は、海拔約5m、海からの距離は約600mと比較的近い位置にあると考えられます。建物の設備に関しては、避難用スロープが1か所と平成24年度に設置されたレスキューベランダ（2基）と学校防災システムがあります。学校防災システムとは、気象庁で感知した地震や津波の情報をいち早くキャッチする装置で、テレビやラジオの緊急放送よりも早く警報がなる機器となっています。本校の児童生徒数は134名、職員数は看護師、調理員等全員含めて150名となっています。本校は、避難する際に1対1を基本としていますが、実際に災害が起きて避難となった場合、上記の数字からすると、1対1での避難は可能であると考えています。



波浸水想定図 (H28.5月版) 一部抜粋

本校の避難場所、避難経路（裏面）について

危機管理マニュアル（地震・津波への対策）

●津波注意報（0.5～1m）・津波警報（1～3m）

校舎内で待機し、状況に応じて、校舎3階へ退避する。

●大津波警報（3～10m）

津波到達時間が30分以内であれば、校舎3階へ退避。30分以上であれば、太田建設へ避難。

●大津波警報（10m以上）

津波到達時間が40分以内であれば、太田建設へ避難。40分以上であれば、東京第一ホテルへ避難。

※津波到達時間や規模などの状況に応じて、3階へ退避する場合もある。

県総北口へ抜ける非常用通路口が完成し、東京第一ホテルまでの避難距離が約300mも短縮されました！

※今後の予定として、国道329号線をスムーズに渡るために、今ある歩道橋へのスロープ設置或いは何らかの方法で設置できないか、再度、要請を行う予定です。

連絡体制整備に関する協力願い

本校は、一斉送信メールといった連絡体制の整備が遅れており、非常時や避難場所に避難した際の、連絡体制や安否確認等への課題があります。現在、情報部を中心にこういったシステムがあるのか、非常時でも連絡ができるのかを検証しているところです。検証後、保護者に登録等の依頼があると思いますので、スムーズに整備ができるよう協力よろしくお願いします。

※送信訓練等も行う予定です。

避難経路図

【太田建設】

- 太田建設駐車場：海拔約27.9m
- 学校～太田建設：約480m
- 太田建設までの時間：約7分（徒歩）

※昨年度の成果（1部）



【比屋根バス停近く】
南部国道事務所に改善要求したところ、すぐに対応して頂きました。街路樹が撤去され、きれいに舗装されました！
80cm → 130cm



【東京第一ホテル】 ※非常用通路口より避難

- 東京第一ホテル：海拔約62m
- 学校～東京第一ホテル：約1.2Km
- 東京第一ホテルまでの時間：約18分（徒歩）

